

# 2009年 家計簿のまとめ



家計簿・くらし調査研究会

**COOP**  
コープかながわ

## 2009年家計簿のまとめ

2009年の家計簿のまとめができました。2008年9月のアメリカ発の株価大暴落に始まる景気の後退は続き、家計にも大きな影響をあたえました。特に収入は平均では約1割減少しましたが、消費も約1割引き締めて収支は各世代とも黒字になっています。

### ◀家計簿提出活動の意義・目的▶

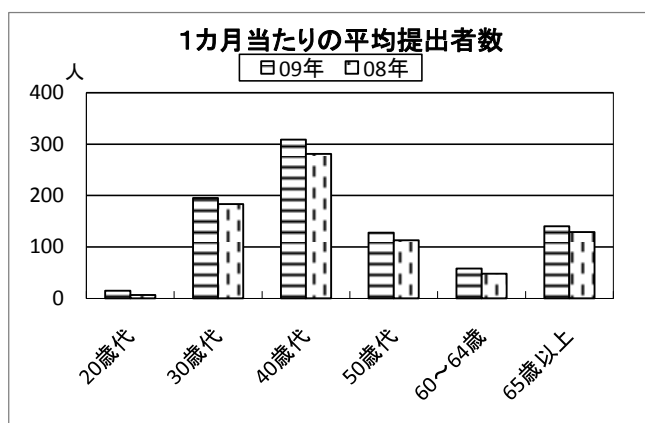
- ◆自分の暮らしを見つめる
- ◆生協の事業に生かす
- ◆社会的にデータを役立てる

### ◇コープの家計簿集計では

1. 「総平均」：合計を提出者数で割った数値
2. 「記入者平均」：合計を記入者数で割った数値
3. 「1ヵ月あたりの平均」：年間の合計を12ヵ月で割った数値
4. 「収入」：非消費支出の税金・社会保険料を引く前の総額

### ◇家計簿提出者数

全体としては前年より84名増え、1ヵ月平均845名の提出がありました。世代の構成比は大きな変化はありませんが、30歳代、40歳代の提出者の割合が多くなっています。収入が大きく減少したので家計管理への関心が高まったと思われます。



### ◀提出者の状況▶

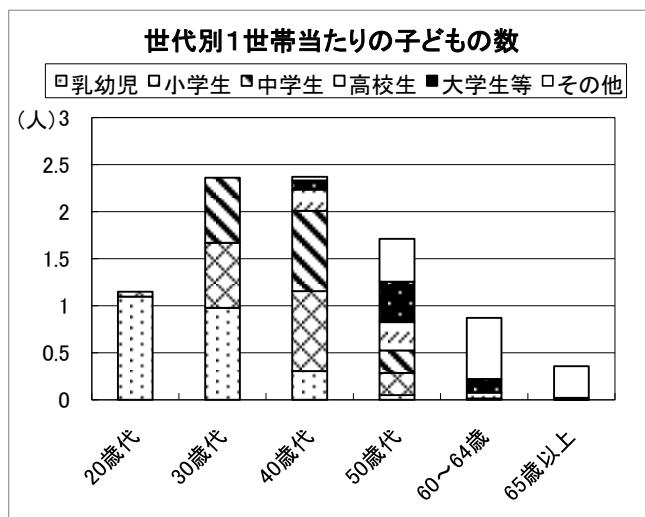
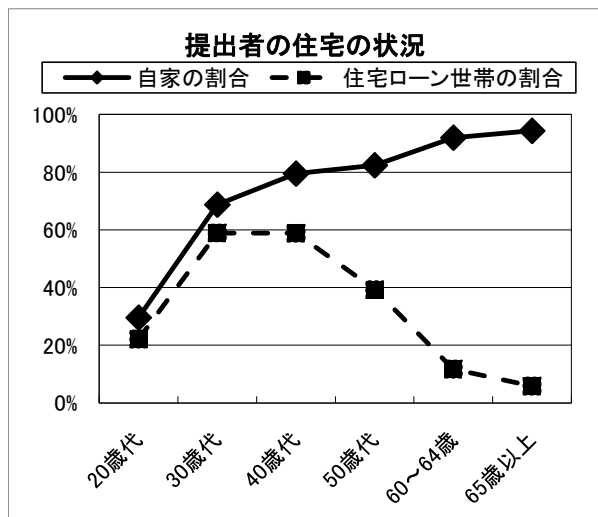
世帯主の平均年齢は49歳、平均家族数は3.8人で、74%が勤労世帯（会社員、公務員）です。

### ◇住宅

住宅は、自家の比率が高く、30歳代で69%、40歳代で80%、60歳代で93%です。政府統計（2人以上世帯、横浜市、平均年齢56.4歳の持ち家率77%）と比べてもかなり高く、提出者の特性のひとつです。住宅ローン世帯の比率は30歳代、40歳代では60%になっています。

### ◇家族構成（子どもの状況）

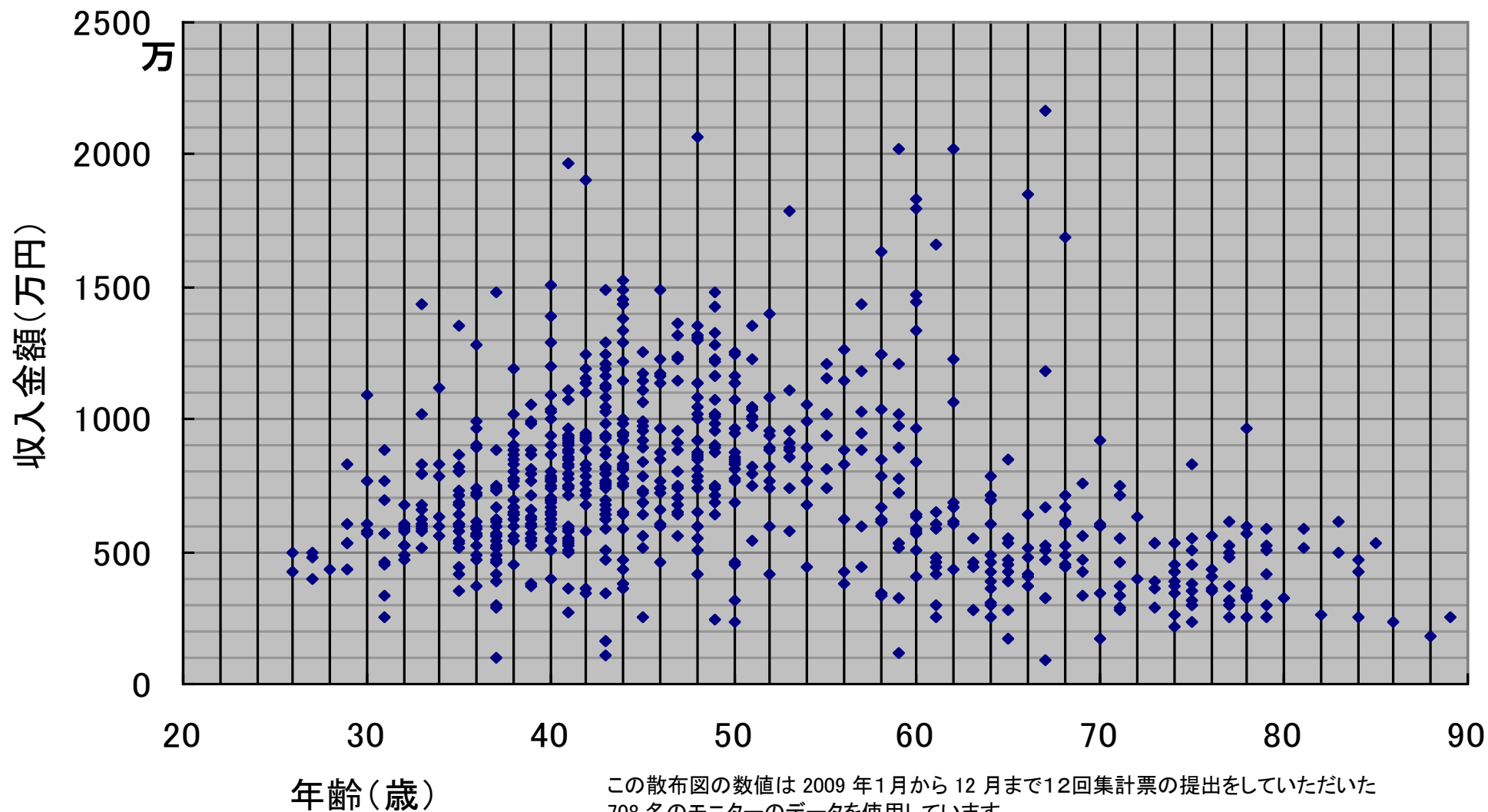
平均家族数は、全世代平均で3.3人、40歳代では、3.95人です。世代別1世帯当たりの子どもの数は、20歳代では約1人、30歳代では2.4人で、一般的には少子化、非婚化などの傾向が進んでいるといわれる中で、夫婦、子供2人という世帯が特徴になっています。



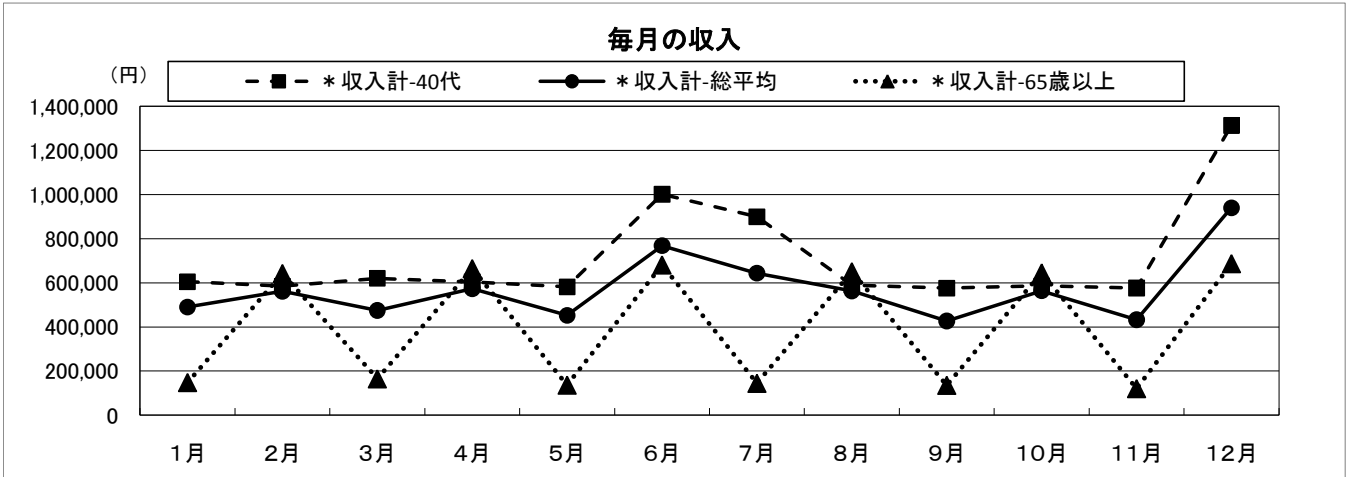
## 年齢別 収入合計

収入合計には給料(夫・妻)、賞与(夫・妻)、年金(夫・妻)、自営業(夫・妻)、家賃地代、パートアルバイト(夫・妻)、同居家族からの収入、その他などすべての収入が含まれます。

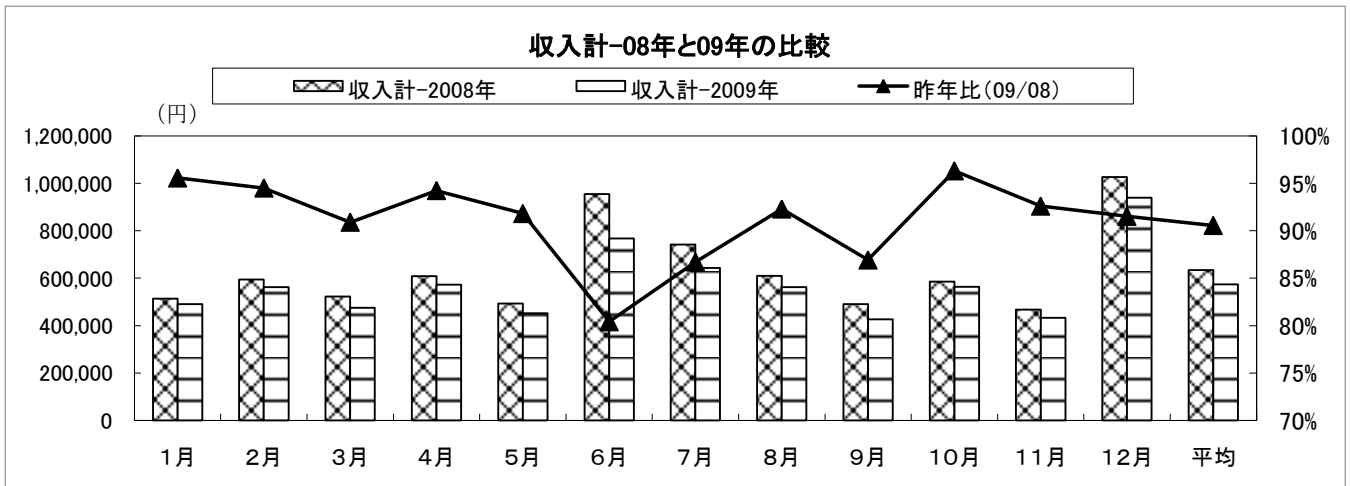
税金や社会保険料を引く前の総額となっています。



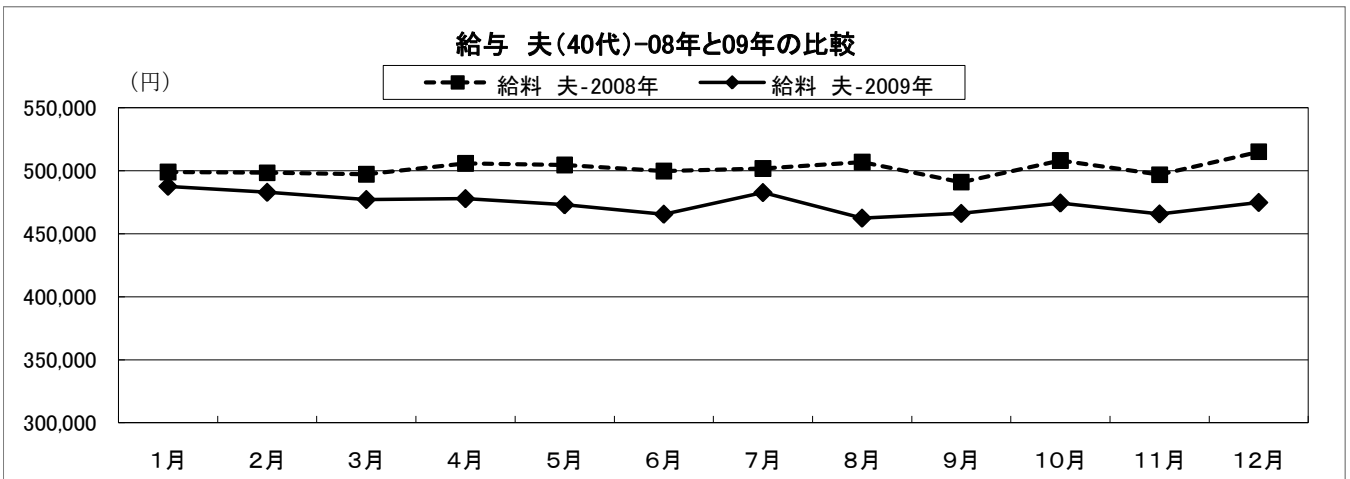
## 《収入》



毎月の収入は、主たる収入が夫の給与になっている勤労世帯（40歳代の収入）と、主たる収入が年金になっている世帯（65歳以上の収入）では異なる型になっています。勤労世帯では、賞与支給月以外はほぼ一定で6月、7月と12月のボーナス時に跳ね上がり、年金世帯では、年金が支給される偶数月と年金支給がない奇数月の規則的な波形になります。したがって、総平均値は両者の特徴をならした型になっています。



09年の収入は08年秋のリーマンショック後、大きく減少しました。全世代平均では収入計の年間平均は昨年比の91%（07年比84%）、給料（夫）の年間平均は昨年比で89%（07年比87%）です。とくに賞与支給月の6月収入計は昨年比80%、12月の収入計は91%となり、ボーナスも大きく減少していることがうかがえます。12月の落ち込みが6月に比べ少ないのは、08年の昨年比がすでに89%になっているため、07年と比べると78%まで落ち込んでいます。40歳代で見ると、収入計、給料（夫）ともに昨年比95%でした。世代別では60～64歳の収入が昨年比115%に増えています。定年後の雇用が進んでいると思われます。



## 《支出》

### ◇非消費支出

09年の非消費支出は全体として減少し、費目別の昨年比は【税金】89%、【社会保険】90%、【私的保険】90%でした。私的保険は、保険商品の選択肢が増え、見直しが進んでいると思われます。個人年金は103%で、特に60～64歳の世帯で205.5%と増えています。公的年金の不足を補うものとして、退職金の一部を個人年金保険にしていると推測されます。

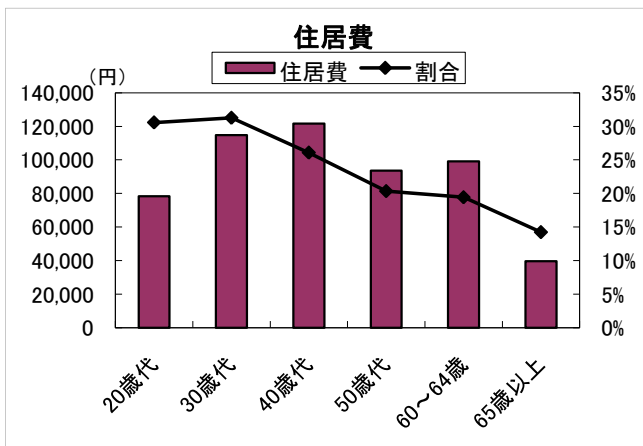
### ◇消費支出

60～64歳を除く全ての世代で、収入が落ち込んだ分、支出は抑えられています。昨年と比べて特徴のある費目を消費支出に占める割合と合わせて見てみました。

#### \* 住居費

(全世代平均額91,255円 昨年比91.7%)

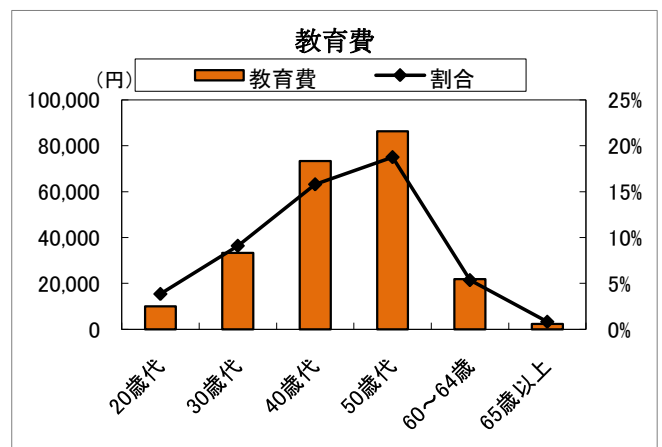
20～50歳代までは最も大きな支出となりましたが、昨年より金額は下がっています。住宅ローンの返済額（記入者平均）が昨年よりあがっているので購入などで支出の調整をした方が多かったのでしょうか？消費支出に占める住宅費の割合は20～30歳代では約30%となっていますが、年齢が上がるにつれて割合は下がっています。



#### \* 教育費

(全世代平均額19,284円 昨年比79.4%)

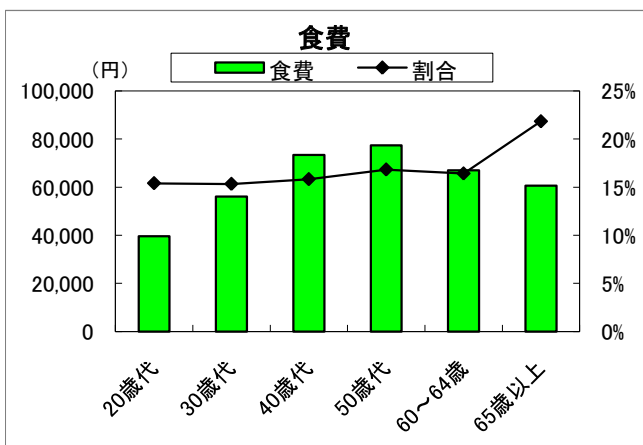
教育費の昨年比が特に落ち込んでいるのは、20歳代の昨年比が60%であること、さらにモニター数が多い30歳代、40歳代の昨年比が94%であることに起因しています。しかし、50歳代は120%、60歳代は130%と増えています。これは就職難を受けて、子どもが再度学校に戻ったり、別の教育機関に入り直したり、学校に籍を残して就職浪人をするという人がいたのではないかと推測されます。



#### \* 食費

(全世代平均額62,369円 昨年比91.8%)

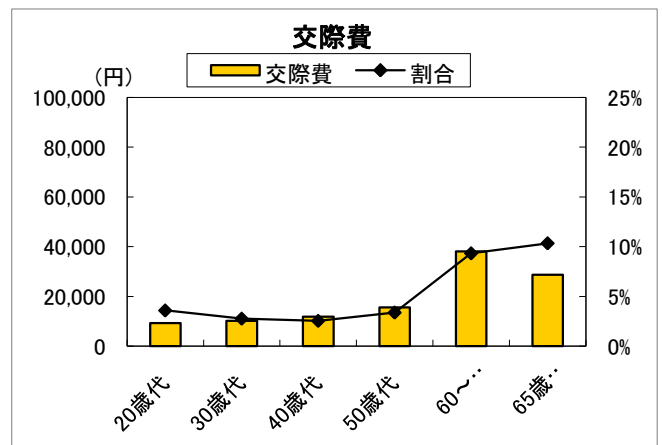
住居費に次ぐ大きな支出となっていますが、やはり不況の影響を受けてか全世代とも昨年より金額が下がっています。消費支出の中での食費の割合は20歳代～64歳代では約15%でありあまり変わりませんが、住居費、教育費などの支出が少なくなる65歳以上では、約24%と大きな割合を占めています。



#### \* 交際費

(全世代平均額18,931円 昨年比104.8%)

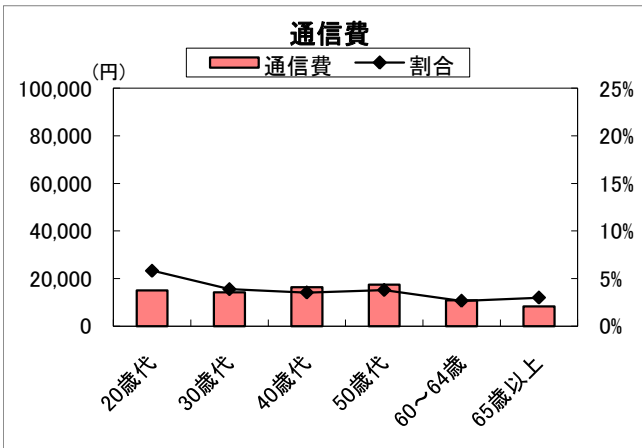
60歳以上では、他の世代と比べると金額も消費支出に占める割合もかなり多くなっています。冠婚葬祭費のほか、子どもや孫への支出が増えていると思われます。



### \* 通信費

(全世代平均額13,699円 昨年比100.2%)

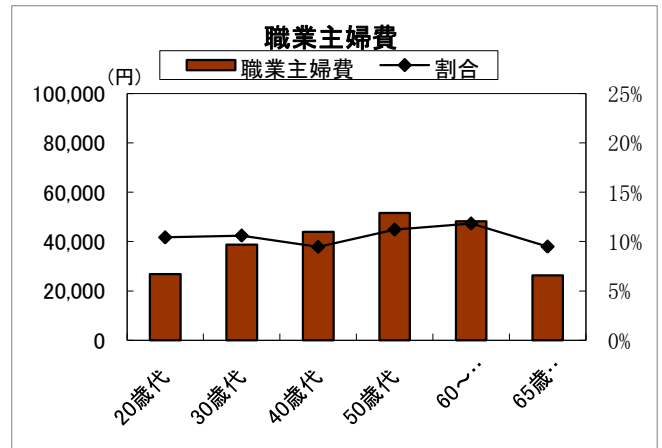
携帯電話が必需品になって、子どもたちの携帯利用料に頭を痛めている家庭も多いと思われます。しかしパケット割引の設定などでほぼ料金は一定になってきているようです。



### \* 職業主婦費

(全世代平均額32,290円 昨年比94.2%)

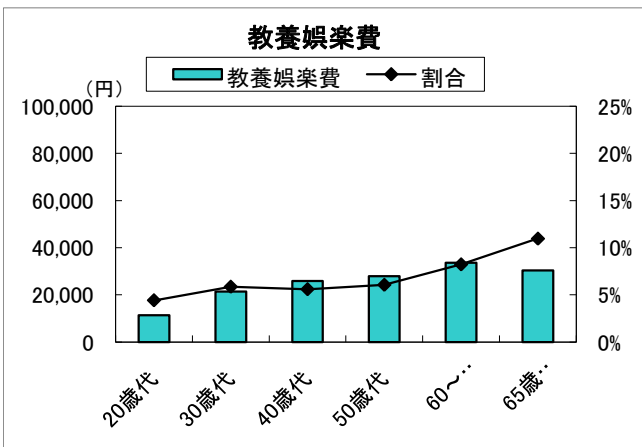
夫や妻の小遣い、通勤費など2人分の経費で、なかなか削ることが出来ない費目です。消費支出に占める割合は各世代ほぼ同じで約10%になっています。



### \* 教養娯楽費

(全世代平均額25,123円 昨年比88.3%)

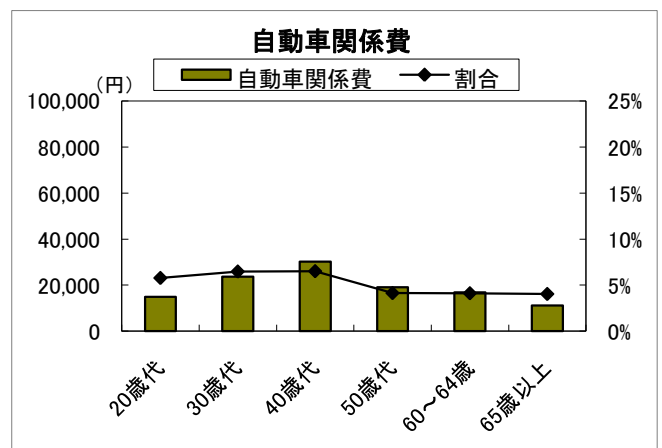
やはり不況の影響でしょうか？昨年より大幅に金額が下がっています。とくに60歳以上では他の世代と比べて金額も多く、消費支出に占める割合も約10%になっています。



### \* 自動車関係費

(全世代平均額19,284円 昨年比79.4%)

消費支出の昨年比で下がった費目第一位です。ガソリン代、維持費などが自動車関係費（高速代は交通費）ですから、不況の影響で使用頻度の減少や廃車などが多かったのではないかと、この数値で読み取れます。昨年比79.4%の中で、車の必要性が多い40歳代はエコ減税の影響からか車の購入などで唯一昨年比120%と増えています。



## ◀「家計簿のまとめ」を家計管理に生かす▶

家計簿をつける目的は、わが家の収入と支出の実態を正しく把握し、計画的にお金を使うことで、家族一人一人の夢を最大限に実現できるようにするためです。

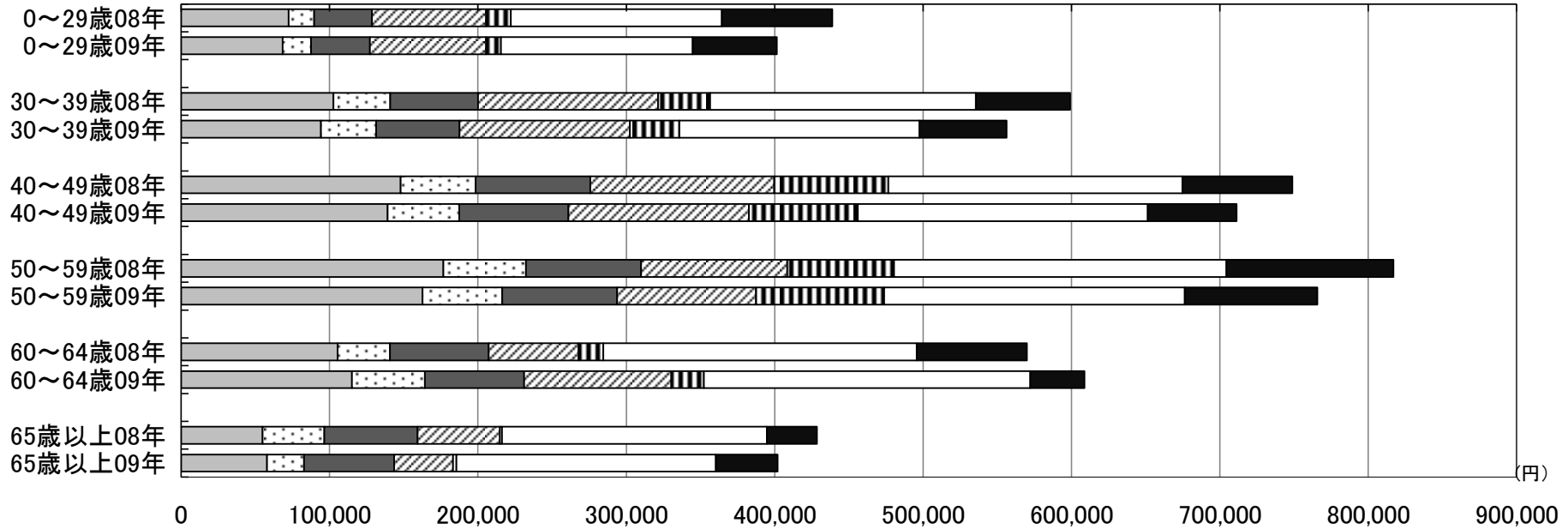
昨年のがが家の家計簿の年間集計を基に今年の計画を立てた方は多いと思います。また毎月の家計簿集計を見て、自分と同世代の家計と比べている方もいるでしょう。

家計簿の消費支出の費目には【食費】のように毎月ほぼ一定に支出するものと、【被服費】のように年間の支出として予算化したほうがよいもの、【住居費】や【教育費】のように世代によって大きく変化していくもの、【医療費】のように、まさかの時の支出として備えるべきものがあります。【私的保険】などは、月々の支出は小さく見えても生涯に支払う金額は大きく、住宅に次ぐ大きな買い物になります。

ですから、家計管理には、年間計画だけでなく「ライフプラン」として長い期間で見える目も大切になります。この「家計簿のまとめ」を将来の収入や支出を考える目安として生かしていただきたいと思います。

## 2008年/2009年世代別支出(総平均)

税金・社会保険
  私的保険等
  食費計
  住居費
  教育費
  その他消費支出
  収支(繰越金・貯蓄)



101

2009年年間総平均	税金 社会保険	私的保険等	食費計	住居費	教育費	その他 消費支出	収支 (繰越金) (貯蓄)	収入計
0～29歳08年	72,413	17,233	38,970	76,969	16,551	142,237	74,534	438,907
0～29歳09年	68,439	19,088	39,632	78,411	9,941	129,295	56,538	401,344
30～39歳08年	102,716	38,217	59,160	121,245	35,193	178,973	63,558	599,063
30～39歳09年	94,224	37,212	56,117	114,849	33,345	161,694	58,815	556,255
40～49歳08年	147,988	50,558	77,150	123,954	76,847	198,198	74,175	748,869
40～49歳09年	139,232	48,233	73,429	121,704	73,344	195,546	59,770	711,258
50～59歳08年	176,748	55,679	77,549	98,445	71,929	224,163	112,404	816,918
50～59歳09年	162,724	53,631	77,422	93,672	86,338	202,597	89,284	765,667
60～64歳08年	105,363	35,440	66,452	60,633	16,604	211,180	74,217	569,889
60～64歳09年	115,090	49,090	66,987	99,213	21,907	219,935	36,615	608,837
65歳以上08年	54,824	41,618	62,829	55,520	1,371	178,621	33,629	428,412
65歳以上09年	57,908	24,933	60,624	39,681	2,321	174,806	41,597	401,870

## 〈家計簿・くらし調査研究会 活動報告〉

◇ 毎月定例会を開催し、「家計簿ニュース」を発行 ◇

### 2009年

- ◇1月 1/30 「家計簿つけ方説明会」開催(ユウホール) 20名参加
- ◇2月 2/3 「家計簿つけ方説明会」開催(ミアクチャー鶴巻店) 13名参加
- 2/5 「家計簿つけ方説明会」開催(東戸塚店) 21名参加
- ◇4月 4/8 全国消団連「電気料金と太陽光発電買取価格」学習会に参加
- ◇6月 6/1 「How to 節約」講演会参加(フォーラムあざみ野)
- 6/13 「How to 節約」講演会参加(フォーラム246)終了後「家計簿交流会」開催
- ◇7月 家計簿「夢ページ」の改正編集
- ◇8月 8/17 NHK取材で「ニュース9」にメンバー2名出演
- 「年金特別便」聞き取り取材
- 「定額給付金」アンケート実施
- 日生協取材 雑誌「CO・OP navi」12月号に掲載
- 「2008年家計簿のまとめ」の作成と配布
- ◇9月 9/24 「Mio」編集委員の取材“家計簿をつけて”
- 「残り物 使い切りレシピ」募集 10月号に掲載
- ◇10月 10/30 「くらしの見直し(成年後見人制度)」講演会参加 終了後「家計簿交流会」開催
- 「核兵器廃絶を求める」署名のお願い
- ◇11月 11/9 秦野のメンバー会に参加 家計簿のつけ方説明とモニター募集のお知らせ

#### 「定額給付金」アンケート結果

“何に使ったの?”

- ・娯楽(29%) ・貯蓄(23%)
- ・生活費(22%) ・寄付(2%)
- ・その他(28%) ※回答数357名

今回の「定額給付金」は税金の戻りだと思う、福祉や介護・教育・医療など有効的に使って欲しかった、などのご意見が多く寄せられました。

### 2009年1月号～12月号までの家計簿ニュース「今月の話題」は・・・

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1月 貯蓄アンケート集計PART2     | 7月 落ち込む収入、減少する貯蓄   |
| 2月 レッツ！確定申告…医療費控除     | 8月 食費内訳ランキングの発表です！ |
| 3月 つけ方の「？」にお答えします！    | 9月 “何に使ったの？「定額給金」” |
| 4月 お子さんの保険は大丈夫？       | アンケート集計報告します！      |
| 5月 食べ物を捨てないで！無駄にしないで！ | 10月 残り物 使い切りレシピ    |
| 6月 介護保険で利用できる施設とサービス  | 11月 気をつけよう！悪徳商法    |
|                       | 12月 あなたはお米をどれくらい   |

食べていますか？

・・・を取り上げ、記事を掲載しました。

編集者（家計簿・くらし調査研究会メンバー）

浅見 千陽 ・ 伊藤 さち子 ・ 生方 英子 ・ 小川 愛 ・ 梶川 三千枝 ・ 鈴木 泰子 ・ 土屋 康子  
旗谷 利実子 ・ 原 登美子 ・ 平野 澄子 ・ 松田 千夏 ・ 森本 ミエ ・ 廣田 夕子（担当職員）